

## 令和6年度 第3回まちづくりミーティング

令和6年10月12日(土) 18時30分～

玉川こども図書館 3階 交流ホール

長町、松ヶ枝、長土堀、芳齋校下(地区)

### (1) 市長あいさつ

#### 【村山市長】

皆さん、こんばんは。本日は土曜日の夕方という大変お忙しい時間、そして3連休の初日でもあります。こうした時間にまちづくりミーティングを開催するというので、足の運びにくいところをご参加いただきまして、ありがとうございます。

このまちづくりミーティングでありますけれども、歴史は古く、平成8年からいろいろ形を変えて行ってまいりました。昨今ではコロナ禍もありましたし、また2年前、令和4年度については、今議会でお認めいただいた新たな都市像を策定するに当たって全ての町会からお話を聞くということで開催をさせていただきましたけれども、こうした形での開催は本当に久しぶりになるかというふうに思っております。

本日は、長町地区、松ヶ枝地区、長土堀地区、芳齋地区という4校下で開催をすることになります。

この校下については、例えば一昨年に中央小学校の新校舎がオープンしましたし、この玉川こども図書館についても、一昨年、リニューアルオープンをいたしました。そして、長町中学校が昨年オープン、そして芳齋のほうには中央小学校芳齋分校、長町中学校芳齋分校、特別支援教育サポートセンター、そして芳齋の公民館と児童館が一緒にオープンするというので、様々な環境がここ数年で変わってきたと認識をしております。

また、これから中央公民館長町館であったり、松ヶ枝福祉館であったり、こうした施設についても老朽化をしてきております。

さらに申し上げますと、現在検討を進めております都心軸の在り方について、都市再生緊急整備地域への指定を目指すということで、地域のあり方がかなり変わってくると認識をしております。

地域での課題についてぜひ我々とも共有をさせていただいて、そして地域での解決あるいは我々と共に解決をするもの、そして市役所のほうで状況をお伝えするもの、様々な

というふうに思っておりますので、こうした環境の変化、そして学校の再編については通学路の変更などもございます。そうした地域にとって非常に大事な課題を共有していきたいと思っておりますし、一つでも多く解決の道筋が立てられればと思っております。

本日、担当の局長もおりますけれども、私のほうも元々芳齋地区の住民でございます。芳齋に副市長の時代から住んでおりましたけれども、市長になって、私ごとで恐縮ですが、今年の夏に芳齋地区で根を生やすことになりましたので、これから未永く地区としてよろしくお願ひしたいと思っております。

限られた時間でございますけれども、濃密な意見交換ができますよう我々のほうも頑張りたいと思っております。よろしくお願ひいたします。(拍手)

## (2) 地域代表あいさつ

### 【長土塀町会連合会長】

皆さん、こんばんは。お忙しい時期にこうやってお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

また、このまちづくりミーティングを開催いただきまして、市長はじめ各部局長並びに教育次長の皆さん、本当にありがとうございます。

この4地区は、金沢市の中心ということで、「THE 金沢」と陰ながら自負しているところでございます。

それだけに歴史が古いだけでなく、やはり地域としての交代時期もそろそろ来てるんじゃないかな。そういうこともございまして、都心軸の再生ということが叫ばれております。

また一方、先ほど市長のお話のとおり、教育環境が次々と整えられてきております。この流れに水を差すようなことがないよう、一気呵成とはいきませんが、本当に充実した地域になるように、皆さん方をはじめ、市の皆さん方、一致協力いたしまして大いに地域を盛り上げていきたいと思っております。

このまちづくりミーティングをきっかけに、また一つ大きな大きな絆が築ければいいかなと思っております。

今日一日、皆さん、よろしくお願ひいたします。(拍手)

## (3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、協議

中央公民館長町館の機能強化について(長町地区)

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【村山市長】

今日、2時半ごろから3時半ごろまでちょっと時間が空いたので、長町武家屋敷のほうへ行かせていただいて、結構、外国の方、インバウンドの方がたくさん来ているなという印象を持ちました。

その時間に何をしていたかということ、聖霊病院の向かい側に西さんの庭園がありまして、この庭園というのが大野庄用水からそのお庭の池に水を引き込で、それをまた流すというようなことで、これが国連大学のほうから国連環境計画という国連の機関に話が行きまして、昨年、都市生態系再生モデル都市というもの、これは世界で11都市しかないんですけれども、これに日本で唯一選ばれております。そういった庭園もたくさんあって、来週末は歴史探訪月間で千田家の庭園を見る機会があるというのを聞いておりました。

そういったことも加えると、今、長町武家屋敷にたくさん観光の方が来ているけれども、これからまた新しい魅力として、環境と生態系ということでまた魅力が深まるんだろうなというふうに思っています。

そうした中で、今回のご提案をいただきました。今日も太鼓のイベントがいくつかあって、アトリオ前でも太鼓をたたくことができるような体験の場所ができていまして、海外の方が体験をしてさらに魅力を感じるという方も多いのかなという中で、非常に魅力的なご提案をいただいたというふうに思います。

中央公民館長町館、こちらは先ほど申し上げたとおり築64年という形であります。これからの機能について、観光という目線もそうですけれども、地元の方々がどう生き生きと暮らすことができるか、そのようなことも大事だと思っております。

金沢市内の中心部の非常に大事な場所でもありますので、ぜひ地域の方とも一緒になってその活用の仕方を考えていきたいと思っております。

本日は教育次長がお答えしましたけれども、その後、市としての活用ということも含めることもあり得るかと思えます。

また、地元の方のご意見も伺いながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

松ヶ枝福祉館及び松ヶ枝緑地の再整備について（松ヶ枝地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【松ヶ枝地区町会連合会】

今回、今のご説明の中で地域の意見ということでお話をさせていただければと思っているのは、我が松ヶ枝地区というのは、皆さんもご存じのとおり、森本・富樫断層の真上に位置する地域でございます。行政機関として福祉館という重大な責務を担う場所として、活断層の真上にそういったものがあるということがふさわしいかどうかというのは当然金沢市さんのほうでもご検討の一つの中に入っておられると思うんですけども、我々地域の人間としてはここに住んで生活をしている人間でございます。この地域を離れて場所に移転するという考えが当然ない中で、このコミュニティ、地域を守っていかなくちゃいけない。

今後ご検討する中で、再整備に向けて金沢市の地震想定も、この森本・富樫断層が動いて震度7クラスがあるという想定の中に耐えられるまちづくりという物の観点の中から、再整備に向けた内容を吟味していただきたいなど。

その中で、地域の要望等というところの意見を言わせていただける場を設けていただきたいというところで、今、連合町会長を経由してお話しさせていただいたところがございますので、ぜひともよろしく願いしたいというふうに思っております。

【山口福祉健康局長】

ご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり、やはり断層のところということで防災面でも課題があるということはもちろん認識しております。そういったところに、今、福祉館という福祉の施設があるということがどうなのかなというようなことも含めて検討しておるところでございます。

今後、あり方検討ということでもう少し具体的に来年度検討してまいりますので、その際には地域の方のご意見も伺いながら進めてまいります。よろしくお願いいたします。

【松ヶ枝地区町会連合会】

先ほどお話のありました再整備手法としての大規模改修、現地建て替え、移転新築につ

いて、それぞれメリット、デメリットなどの課題整理を行うため、今調査であると。この調査が出た段階である程度市の方でこれが一番いいんじゃないかというものを出されるのか、このデメリット、メリットが出た段階で地域に相談というものがあるのかどうか、それを一つ教えていただきたいです。

【山口福祉健康局長】

今年度の調査の中でメリット、デメリットを今調査しておりますけれども、その中で市のほうである程度こういった方向というか、こちらの方向でというようなことは判断したいと思っております。

【松ヶ枝地区町会連合会】

このメリット、デメリットが出た市の方向性は出していただいているんですけども、それも実はこれはこういうメリットがあって、こういうデメリットがあるっていう、その段階を踏んでこうなったんですよというところの説明まではしていただけるわけですか。

【山口福祉健康局長】

はい、そうですね。こういった形でその結論に至ったかということは十分説明させていただきたいと思っております。

【松ヶ枝地区町会連合会】

その結論というのは、こちらの要望で変わることも考えていらっしゃるんですか。あくまでその結論が決定でしょうか。

【山口福祉健康局長】

それはちょっと今の段階でどうこうっていうのはなかなかこういった結論になるか、市の中での検討もこういった形で進むのか。拮抗したような状況になるのか、それともやはり今回の場合はこういうふうに進むのが地域の方にとって市にとっていいのかっていう、どんな方針にまとまるのかっていうのをちょっと今の段階で分からないんですけども、いずれにしろ、どうやって決定に導き出したのかというようなことはご説明させていただきたいと思います。

その上で、いろいろご反論とかありましたら、また聞いた上で、その段階でまた検討させていただきたいと思います。

【松ヶ枝地区町会連合会】

そうしますと、それは今これでいくと大体本年度でそういう取りまとめを進めていらっしゃるという具合に受け取ったんですけども、そうすると次年度から、その次ぐらいにはもうそういう方針というのは出てくるわけですね。

【山口福祉健康局長】

はい、そうですね。遅くとも来年度の間には方針、方向性を出して、その出したものをご説明するというような機会を設けたいと思います。

【松ヶ枝地区町会連合会】

今年度というのは3月ということか。

【山口福祉健康局長】

来年度にはということです。今年度は検討をまとめた上でということです。

【村山市長】

大体今のことでまとまったかとは思いますが、いずれにしても、森本・富樫断層のことも含めて、この松ヶ枝福祉館が置かれた位置と、それから周辺についてのことも検討しなければならないと思っています。

今年度、メリット、デメリットを明らかにしていくというところに着手したところでありますが、いずれにしても老朽化している建物なのでなるべく早く対策を打たなければならないというふうに考えております。

地域の中で大事な施設だと思っていますので、その検討について、またいろいろご意見を聴かせていただければと思います。

閑静な住宅街、安心して命を繋げる町をめざして（長土堀）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、

レジュメを参照願います。

【村山市長】

長土堀のほうも、冒頭の挨拶では触れませんでしたけども、長土堀青少年交流センターができて順調に今動いているかなと思っていますし、また2週間後、「第3の居場所」を考えるシンポジウムというのをさせていただいて、高校生などで学校と家だけではないほかのところにいるんな相談ができるような場所ができないかなということで、今年、モデル事業を行っていますけれども、そちらのほうも動き出していると思っています。

本当に閑静な住宅街で、昔ながらのお店がまだ残っているといういい雰囲気を感じられる場所だというふうに思います。

今、助成制度は経済局長からお話ししましたけれども、なかなか八百屋さんとか魚屋さんとかは難しいかもしれませんが、例えば小規模なスーパーなどができればと思いますし、ぜひそのような場所があれば誘致していただけるといいのかなと思っています。

そして、簡易宿所の課題について、これも1年半ぐらい前に京都に行く出張があって、町なか路地などを歩くこともありましたけれども、至るところに簡易宿所があって結構大変な状況になっているなと思いました。それに比べて、金沢はそこまで進出するよりも前に手が打てたようにも思っています。

そして、さらに説明をさせていただいた条例の制定以降にも困り事があるようであれば、先ほどのまちづくり協定の事例も、ここ長土堀の中でも締結されている地区もあると思うので、ぜひご相談いただければというふうに思います。よろしく願います。

金沢方式について（地域負担について）（芳齋地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【芳齋地区町会連合会】

ご説明ありがとうございました。

2月に当初予算を打つということは、2月に予算を決めるわけではなくって、きっとその前に金沢市としてどれくらい負担をしなければいけないのかということを決めなければいけないということだというふうに思っています。それを発表するタイミングが2月だ

ということなのも承知はしておりますが、金沢市が予算を組むとしたら2月ではないということも一つ事実だろうというふうに思っています。

もう一つ、ご案内のとおり、今建築費とか資材費とか車両費がとても上がっていて、その上がっている中で、例えば消防ポンプ車とかの、いわゆる装備品とかのスペックをよくするかとか、残念ながら落とすかとか、そういう瀬戸際に今それぞれの地域は立っていると私は思っています。

そういうことも含めて、地域をどうするかということを決定的なためにも、ぜひ金沢さんも地域が決定的なためのお力添えいただきたい。これは質問ではなくて、ここで答られないのもよく分かっているので、こういう事情があるんですよという要望としてぜひお伝えさせていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

**【村角都市政策局長】**

ご要望をしっかりと受け止めさせていただきます。ご事情、十分承知をしています。そのほかの地区からも同じようなお声をお聴きしています。公民館、児童館、消防団を所管するそれぞれの部局が、同じような思い、考えを持ちながら対応をさせて頂いています。

次年度以降、地域の負担をどうやったら軽減できるのか、どういう率がいいのか、しっかり考えていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

**【村山市長】**

局長に質問なんですけれども。

第3回の資料あるいは第4回の資料、どこかのところで事務局案のようなものが出てくるのかどうか。それが出てくるとすれば一つの参考になるかと思うんですけども、いかがでしょうか。

**【村角都市政策局長】**

第3回目の懇話会は来月ですけれども、例えば今後、公民館、児童館、消防分団の小屋を建て替えたときに、年次的にどのような費用が発生するかというシミュレーションを今、立てています。これは第2回目のときに委員さんからご指摘を受けました。今だけじゃなくて今後ずっと見たときに、全部でどれくらい想定できるのかと。

当然、地元の皆様のご負担も生じるわけですけれども、それを軽減して、その軽減した

部分というのは金沢市の予算のほうに跳ね返ってきたときに、市の財政はそれでも大丈夫なのかといった声もございまして、まずは、負担比率を検討する前に、全体的なシミュレーションを行っていきたいと思っています。

その上で、今は基本的には4分の3、4分の1という負担比率でございますが、これを変えていったときに地元負担はどのような軽減になって、市の負担はどのように増えるとか、そういった次のシミュレーションが出てこようかなと思っています。

そうした次のシミュレーションを第4回目のときにお示しするかどうかについては、バリエーションといういくつかの考え方になってくるかもしれないが、今後、しっかり議論していかなければならないと考えています。

【村山市長】

こんな形でよろしいでしょうか。

【芳齋地区町会連合会】

ありがとうございます。

【長土堀町会連合町会】

今ほど芳齋地区の話なんですけど、いわゆる消防分団ということについてなんですけどね。小学校が4地区合併して中央小学校というものができました。もう大分たっていますよね。不思議なのは、なぜ消防分団が合併しないのかと。これは何でなのでしょうとかという単純な質問です。ただ、消防ということで非常に難しい面があるのかなと思います。

いわゆる金沢方式という格好のいいことを言っておりますが、少しは地元負担ということになるわけですよね。現状を考えてみますと、今、長土堀地区にしても各地区にしても老人世帯がたくさんいるわけです。ほとんどが年金生活者です。年金生活者から負担をしろということになってくると、その町会に、いわゆる消防自動車入替え、それと救護車入替え、2台あるんですね。それで各町会、人数にもよるんですけど、何十万という負担が生じてくるんです。そうすると、その負担は年金から拠出しなければならぬということをもっと真剣に考えていただきたいと。

消防分団も、やはりなかなか難しいかと思いますが、4つ合併してもいいんじゃないかと。そして、合併したところに消防自動車3台ぐらい置くとか、2台でいいとか、省力化

することがどうなのかなということを考える次第でございます。

**【村角都市政策局長】**

消防分団については、今日、消防の担当部局が来ていないので、お話をあつたことはお伝えしたいと思います。

消防団の区割りも含めまして、例えば校下ですとか、いろんな地区割りの話も今議論の途上に上がってきています。

ただ、今の金沢方式のあり方検討懇話会の中では、それぞれ個別具体的話でもございませぬし、あくまでも地域の皆様からのご発意に基づいて動くべきものでありますので、今の消防分団の件につきましても、消防局にこういうご意見があつた、ご指摘があつたということはしっかりお伝えをさせていただきます。

もう一つ、負担のことでございます。今ご意見、ご指摘がありましたように、人口の減少であったり、高齢化、それから住民の意識も変わってきているというお声も聞いています。若い方々になってきたときに、なかなかその地域コミュニティへの関わりというものが薄くなってきて、どうしてその負担金を出す必要があるのかというお声もあり、苦しい自治活動をされているところもあると聞いています。

そうした点については、改めて市としても、先ほど懇話会のほうで指摘があつたとお話をさせていただきますが、周知広報活動が必要と思っています。

負担そのものについては、ここ数十年ずっと変わってきていませんでした。4分の3、4分の1という基本のスタイルが変わってきてなかった中で、昨年度、村山市長の下で策定した新たな都市像の中に、近年のコミュニティ活動を取り巻く環境の変化も踏まえて、金沢方式を持続可能なものに見直していこうということで盛り込んだ大きな施策の一つでございます。今ご指摘いただいた負担感の増のところも含めてしっかり考えていきたいと思ひます。

結論を急ぐというよりも、どういったことができるのかしっかりと考えていきたいと思ひています。どうぞよろしくお願ひします。

**【長土堀町会連合会】**

以前からこの負担率についてはいろいろ話があつたみたいで、そこに市として今年きちんと切り込んでいただいたのはとてもありがたいなというふうに思っております。

ただ、一定の負担率の見直しを行って、それでこれで一件落着と終わりにはしてほしくないんです。というのは、先ほど説明の中にもありましたけど、いろんな部局が関係しているところだと思うんです。

例えば公民館のところと言うと、金沢市が市としてこれからどんなふうにして社会教育を進めていこうとしているのか。そこを見たときに、例えば公民館の数が今のままでいいのかというのもまた関わってくる。だから、いろんなところがあるから、一つの区切りとして出していただくのはいいんだけど、それについてやっぱり継続してこれで終わりにしてほしくなくて、何年後にもやっぱりちょっと見直しをしてほしいなと思います。

というのは、最初にお話のあった長町中学校、中央小学校、それからこのこども図書館、この辺が整備されたおかげで、この前社会体育大会をやったんですけど、小さな子供たちがすごく増えました。子育てしている家族が増えたんだなっていうのを実感した次第です。こういう環境を整えば人は集まってくるんだなというのを改めて思いました。

公民館について言うと、今、定年の年齢が上がったりして、昔は定年したから、じゃあそろそろ地域活動するわみたいな人がおいでただけど、今は60過ぎててもまだまだ働くことが多くて地域の担い手がない。若い人たちはこれまでもいなかったただけど、やっぱりすぐ頼んでもなかなか戦力になるような若手はやっぱりまだいない。

そんな中で、これからどんなふうにして地域をつくっていくのかということにも関わってくると思うので、その中で一つの区切りとしてその負担率の数字の見直しは大変ありがたいんだけど、自分の要望としてはここで終わりにしてほしくなくて、見直しをかけていっていただきたいなというふうに思います。

#### 【村角都市政策局長】

大変貴重なご意見だと思います。負担率の見直しもそうですけれども、先ほど申し上げましたとおり、地域コミュニティを取り巻く環境は変わってきます。それに合わせて、負担率であったり、そのほかの市の支援策であったり、施策、取組も変えていく必要があると思っています。

負担率は今しっかり見直しをさせていただきます。そのほかの取組についても、すぐできることと時間をかけて取り組んでいくことが必要なものが出てくると思います。時間をかけて取り組んだ結果として、いろんな状況が生じてくるものだと思いますけれども、そうした状況の変化を的確に捉えながら、また検証しながら進めていく必要があると考えてい

ます。

【村山市長】

住民の立場で申し上げますと、今回のまちづくりミーティングで初めてこの消防団の消防車の更新の話を聞き、また負担するののかという気持ちが、公民館、児童館造ったばかりなのでまたかと思っていたんですけれども。

市長の立場で申し上げます。

先ほど局長からも話があったように、公民館、児童館、そして消防車両や小屋の関係ですけれども、この負担率については昭和40年代以降、変わっていません。

この話に、持続的な金沢方式のあり方についてという検討会を今回設けたときに、いろんな方から「パンドラの箱を開けたね」と言われました。でも、そうでないと地域コミュニティがこれからどうなっていくかということが心配だったから、このような議論を始めさせていただきました。

あり方検討会のほうでは、もちろん負担率のお話が出てくるんですけれども、これを今後どうしていったらいいのかというような話に力点が結構置かれていきました。その中には、私が最近本当に痛切に感じているのが、60超えてもまだ働き続ける方も多いという話をいただきましたけれども、これから生産年齢人口が減っていきます。さらに、共働きの方でも正社員同士という方も増えている中で、仕事と家庭以外のことをやる暇がないという人が増えてきている。つまり、PTAの役員、もともとやるのが面倒くさいからやりたくないではなくて、本当にできないって人がたくさん出てきたとなると、今後の町会運営、公民館あるいは民生委員児童委員、なり手が不足してくるということを危機感として持っています。

そういった中で、これから議論を進めていかなければならないのは、その負担の軽減というところも出てくるかなと思っております。かなり本質の議論になってくるかなというふうに思います。これが一つです。

もう一つが、この中央地区の人口がひよっとしたら増え始めるかもしれないということは、やはりこのこども図書館もそうですけれども、隣には玉川図書館があって、今その建築レガシーの再興というのを行っていますけれども、老朽化してきたのでどのように直していくべきか。そのことが終われば、またリニューアルをしてさらに魅力的になっていく。

そして中央小学校もこれだけ新しいきれいなものができましたし、玉川公園の方もイン

クルーシブの施設ができてきて、長町中学校もあってというように、中心地の人口が減っているということに私はすごく違和感があったんですが、それが子育て世代にとっては非常に魅力的なものに見えてきたというような兆しもあります。

一方で、そうは言っても減ってきているという中で、学校は統合してこれからどうするかということの議論が起きてくるのは当然だと思っています。

今、校下の統合あるいは消防団の統合などの話がこれから必要なんじゃないかというような意見も一部で出てきています。その中で、その町会同士の話合いがあった上で、もし必要があるのであれば、そこからの発議によって消防団の統合なども行っていくべきだというのが、議会などでも公式な話をしていますが、そういった消防団の統合などの事例は恐らくこれまでありません。

ですので、これは初めての事例になっていくとなれば、我々行政としても何らかのその助言ということではないですけども、どうやって進めていったらうまくいこうかというようなことを一緒に考えていく必要もあるだろうと思っています。その段になったらまたご相談をさせていただきたいと考えております。

かなりこれは地域コミュニティの本質に関わる場所ですので、大きな議論が必要だと思っています。今回の金沢方式のあり方の見直しを始めたところで、この議論が本格化してきたということ。そして、中央地区だけではないです。山間地についても人口減少でこれからどうするのかという話も出てきますので、その辺りの課題をこれから市役所としても取り組まなければいけないというふうに認識をしております。

もう全体の会のまとめのような話の大きな議論ですけども、このような方針で進めていきたいと思います。

#### (4) 共通課題について

##### 駅東都心軸構想について

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

#### 【芳齋地区町会連合会】

今ほどこちらの回答の中に、駅東都心軸に隣接する校下町会連合会の代表者の意見をいただいたというふうに村角局長から回答があってちょっとびっくりしたんですけど。

もともと町会連合会の代表がメンバーに入られるに当たって、その方が、いわゆる中央ブロックの連長に何か言いたいことあるか、というふうに聞いてきたらしいというのを聞きました。ただ、そのときには私たち中央ブロックの連長は、資料ももらってなければ、今金沢市がどういうふうに考えているかも全然聞かされていない中で、いきなり意見あるかと言われても意見が言えるわけもないということで、都市計画課長さんに私どもからお願いをして、一回だけ説明会をしていただきまして、そのときに意見を述べる機会をいただいたというところのことを言っているのかなと思っています。

ただ、そこから先は、皆さんそれぞれ新聞で読むか、もしくはネットで探すかしか多分情報を得られることはなかったと思います。私はたまたま自分の仕事柄、別の機会にいろんなことを聞いていたけれども、これは本来であればやはり皆さんにしっかりとお伝えするべき案件ではないかというふうにずっと考えておりました。

今検討していただいているということですので、ぜひ引き続きしっかりと地域の人たちが金沢市から地域としっかりと連携を取ったというふうに思えるような対応を取っていただきたいと思いますし、特措法をかけるに当たっては、ただ単になかなか建て替えが進まない、もしくは空き地に建物が建てられないから特措法をかけて建物を建てればいわけじゃなくて、そうしたらやっぱり税金が安くなったりとか補助金が入ったりとか、高さ制限とか要件基準が緩和されるとかいったいあるわけですから、ちゃんと施主には公共の福祉に利する建物であるからこそこの特措法が使えるんだということをぜひしっかりと伝えていただいて。ただ単に大きいマンションがぼんと建ったと、そんなことがまかり間違ってもないように、大きく建てるからには中に金沢市の経済発展、もしくは文化の貢献、何かそういうMICEの会議室入れるとか、そういう何かをするから特措法をかけてあげるんだよというふうに市民もしっかりと理解できるように、金沢市としても各施主さんに指導していただきたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

**【村角都市政策局長】**

先ほど来、いくつか提出議題がありました。長町館のこと、松ヶ枝福祉館のこと、また、今回のことについても、住民の方々とキャッチボールをさせていただきながら進めていく必要があると思っています。

都心軸については、今後のまちづくりの大きな方針になってきます。現在、地域整備方針の素案について検討を進めているところでありますが、今後、日程調整等させていただ

いて、意見をお聴きしていきたいと思っています。明年度、早ければ夏頃とっておりますが、政令指定を受けた後、実際に地域整備方針に沿った民間開発が進んでいくことが、連長さんのご意見と同様に必要であると思っています。

その上で、民間事業者に対してどのような指導、それから監督をしていくのか。先行している自治体の取組も十分参考にしながら、着実にやっていきたいと思っています。

**【芳齋地区町会連合会】**

ありがとうございます。

**【長町地区町会連合会】**

駅東都心軸構想ということで、スケジュール感みたいなことをお伺いしたいと思えます。

駅東都心軸といいますと、金沢駅から片町のこの都心軸線を考えていると思うんですけども、今メディア等で話が出ているのは、都ホテルの跡地、金沢エムザの建て替え、日銀の跡地ですね。今、片町のほうでは2丁目地内で再開発も始まっています。6年後の完成を目指してやっています。

今一番関心のあるのは都ホテルの跡地なんですけれども、もう5年ぐらいあいつた形で何にもない更地になったままです。どういったスケジュール感を持って金沢市あるいは石川県、国等が考えておられるのか。あのまんまじゃ金沢の顔となるところが丸潰れなんですよね。もう少しスケジュール感を持ってやってほしいと思います。

特にこういう都市再生の緊急整備地域に指定されますと、都市計画決定という再開発やってもいいよっていうのは金沢市ではできないんですよ、中核市なので。政令指定都市ならできるとは聞いているんですけども、できないので県からの許可を得るという、もう面倒くさいことがいっぱい出てきて、さらに時間がかかるような状況になってきていると思うんですよ。

そういうことも考えて、できるだけ早く整備が進むようお願いしたいんですけども。分かる範囲で結構なので、どういったスケジュール感を持ってやっておられるのか、その辺分かりましたらお聞かせ願いたいと思います。

**【村角都市政策局長】**

スケジュールということでした。都ホテル、エムザ、日銀、片町といった、金沢駅から武蔵ヶ辻、南町、香林坊、片町に至る都心軸沿線の大型の開発を挙げていただきました。その中でも、金沢の玄関口である駅前の都ホテル跡地の開発についてでありました。

ご承知のように、都ホテルの跡地は近鉄不動産が所有をしています。近鉄不動産に対しましては、早期の開発を申し上げてきたところであり、近鉄不動産自社での開発を念頭に今進めていると認識をしています。

一方で都心軸の構想も進んでいますので、準備協議会の進捗に合わせて、協議会の議論を近鉄不動産にお伝えをして情報共有をさせていただいているところですが、いつ着工して、いつ頃ビルができるかというところまでは、まだお聞きをしていない状況です。

県都市計画決定のお話もされました。都市再生緊急整備地域に指定された後に、規制緩和を視野に入れた開発をしたいという事業者については、具体的な開発計画をお示しいただいて、市と共に原案を作成し、その後、県による都市計画決定を受けた後に、実際の開発事業に着手する流れとなります。

金沢市は中核市でございますので、県の都市計画決定が必要ですが、今、準備協議会には県副知事もお入りになっていただいています。県市連携の上で進めていく事業と認識をしています。今の時点で今後の具体のスケジュールはお示しはできませんが、県のご協力も得ながら事業が円滑に進むように、連携を図りながら進めていきたいと思っております。

#### 【松ヶ枝地区町会連合会】

この駅東都心軸構想におきまして、駅から片町の間というのはもう既に無電柱化が進んでおりまして、そこに街路樹が立っているような状況があります。

それで、今回、私は民間の人間なので、こういう言い方すると大変失礼な言い方になるかもしれませんがけれども、市役所さんの縦割りの、あるいは国の縦割りの、県の縦割りの話とは度外視して、現況としてこの都心軸の街路樹の下にカラスのふん害があるということは皆さんもご承知のところであると思っております。

現在、この都心軸構想において、よりよい建物を建てていこうという考えの下にハード面ばかりが先走りしていますが、その足元においてカラスのふん害があり、そしてその一本裏手に入った電柱の下、居住あるいは商店が建ち並んでいるところの電線の下にカラスのふんあるいはカラスの羽の害が出ているということ、ここ五、六年前から金沢市の環境部局に対してお願いはしてあったり、北陸電力の協力の下、とりがえしをつけていただ

いたりということの対策はされているものの、近年、新しい取組、どういうふうはこのカラスの害に対応していくかという金沢市発信の対策というものが見えていません。

今後、これをどうしていかれるのか。ましてや、今後、都心構想の上でよりよいものは立ててきたのに、周りで観光客が歩くようなところ、地域の住民が歩くようなところこういうものがずっとあっていいものなのかというようなところの観点から、どういうお取組で考えていらっしゃるのかというところのご意見をお伺いしたいと思っています。

#### 【村角都市政策局長】

カラスのことについては、環境局に、今こういうお話があったということを伝えます。

都心軸構想に関連して申し上げますと、これから取りまとめていく地域整備方針の中に、一つ一つの個別具体の施策を盛り込むことは難しく、開発の考え方を方針として盛り込んでいくこととなります。金沢駅から片町に至るまでに、歩行者がそぞろ歩きができる「居心地よく、快適よく歩ける」という表現をさせていただいておりますが、そのためには、カラスの問題をはじめ、無電柱化や歩道、バス・タクシーの乗降の問題など、様々な具体の政策が出てくるかと思えます。

大きなグランドビジョンでございますので、庁内横断的にそういった方向性を共有し、具体の施策に反映していくことが大変必要であると思っています。

カラスの話については、都心軸、それからその後背地に至る細街路にかけての課題かとも思いますので、今日のまちづくりミーティングで改めてご指摘があったことをしっかりと伝えさせていただきます。

#### 【松ヶ枝地区町会連合会】

この問題は今始まった問題ではなくて、もう5年以上も前からこの地域においてはカラスの害というものがずっと出ています。ただ、金沢市の環境局の方は今日は来ていらっしゃいませんけれども、その方の対応というのは、超音波装置をお貸ししますからカラス飛ばしてくださいねっていう、具体的なその処置は何ら変わっていません。

カラスは賢くて、人間が起きている間はだんだん来なくなりました。超音波で飛ばして、人間が動いている間は来ません。みんなが寝静まった頃にまたぞろやってきて、元の木阿弥。また毎朝、そのふんの掃除をしなきゃいけない。こういうことが全然前に進んでないんですね。時間ばかり過ぎていて。二言目には鳥獣保護法がありますと。

ただ、こうやって人間に害が及んでいるのに、その対応が5年間変わらないっていうのはおかしいんじゃないかっていうことを言いたいです。そういう部分において、何か積極的に金沢市さんが動いているというふうには全然見受けられておりません。

隣接する富山県の高岡市ではいろんなレーザーの光線銃を出して、不規則にレーザー銃を出すような、そういう施策を市として取り組んでいらっしゃいます。そういう動きが金沢市さんのほうでは一切受けてないっていうのが非常に不満に思っているところがあります。

じゃあ、カラスの寝床の問題で、そこで個体制限をどういうふうにかけるのかっていうところまでの議論までが全然進んでいかないっていうのがすごく不満に思っているところがあります。

そのところをぜひとも市全体としての問題として、局長クラスの皆さんのお力添えで何とか解決の方向に向かうようお願いしたいというのが私の意見です。よろしくお願いします。

#### 【村角都市政策局長】

カラスの問題はしっかりとお伝えさせていただきます。

カラスの問題だけでなく、そのほかの地域課題に対してもそれぞれの担当部局が先ずは対応しています。それぞれの専門分野を生かしてということになりますが、「市役所一家」という言葉にもあるように、組織横断的に物事を考えていくことが大変必要であります。そうした情報については共有をし、どういう方向性が必要なのか、連携すべきはしっかりと連携をさせていただいて、課題解決に当たっていきたいと思います。

#### 【松ヶ枝地区町会連合会】

それについてちょっと追加させていただきます。よろしいですか。

高岡、富山では城の中に捕獲器を11個置いてあるんですよ。私もこれは何遍も市の方へ行きました。捕獲器を置いて捕まえたらどうかという話をしたんですが、今、お話しされたように、鳥獣保護法が云々とか、カラスの数が増えてないとか、そういうことばかりおっしゃるんですわ、市の方は。

やはり本当に私も町会長をして、今年は辞めましたけれども、7年、8年やってきまして全く進んでない状況ですわ。本当に。

だから、無電柱化ということをおも都市計画課の方へお話に行きましたけれども、確かに私らのところにはマンションが多いものですから、それから先ほどの話に出ましたように、森本・富樫活断層が走っているから、もしか震度7があつて、地下にケーブル入れたときに、回復するのに1か月かかると、電柱の場合は1週間で回復すると。ですから、その辺を考えてマンションの同意書を取れと。それも一理あると思いますよね。13階の上から毎日停電で1か月上がり下りするのも大変ですから。そういう言い方で、私も同意書を取るまでもいかなかったですけどもね。

とにかく、無電柱化も非常に難しい格好ですし、地下ケーブルも難しいということもいろいろ聞かされましたですけど、とにかくそのカラス対策、これはやっぱり何か考えていただかないと。いつも歩いていらっしゃいますか、あの大和の裏辺りでも。物すごいですよね。

それで、うちの方は町会長さんがいつも洗ったり掃いておいでますね。そういうことをしておいでますし、そこら辺、やっぱり市の方ももう少し、都市の市の中心部ですから観光客が非常に多いです、観光をうたうのであればその辺をきちっとしていただきたいですね。観光ばかりうたっていて、そういう面が全然整備されてないですから。そういうことを一つお願いしたいです。

それから、ちょっと余談になりますけど、もう一つ。157号線ですか、うちの横ね。国土交通省が冬場の融雪ですよ。非常に昼の真ん中でも水が出っぱなしなんです。金沢市の方からは地面が下がるから云々という非常に厳しい指導が私らに来ていますが、融雪に関してですね。その国道に対しては昼の真ん中も水が出ていまして、道路が悪いですからもうバスが通ると歩道のほうまで飛びかかってくる、水がね。そういうことに対しても、やっぱり国土交通省の方にも言ってほしいんです。凍るはずがないんですから、昼間の真ん中は。昼間の真ん中、天気であっても水出っ放しのところたくさんありますので、その辺もひとつ併せてよろしく願いいたします。

#### 【村角都市政策局長】

改めてのカラス対策の話と、157号の融雪道路の話については、それぞれの部局にしっかりお伝えをさせていただきます。

特にカラスについては、観光ということを打ち出している以上、しっかりしていくべきじゃないかのご意見。景観の関係も含めてのご指摘かと思ひます。

市としても、観光施策を進めていく上で市民生活と調和した観光振興という言い方もさせていただいています。観光と市民生活のバランスが図られるような施策についても取り組んでいく必要があると考えています。

全体を通して、それぞれの部局にしっかり伝えていきたいと思います。ありがとうございます。

#### 【村山市長】

話がもうカラスのほうに来たのでカラスの話からさせていただきますと、カラスの寝床になっている金沢城のほうは県の方が管理しているので、ちょっと県の方にもお願いしなきゃいけないかなというふうに思っていますけれども、有効な対策について勉強していきたいと思います。

そして、私、市長になってからカラス対策の話は何度か環境局にしています。私も雨が降った翌日、晴れていたけれども地面が湿っているとき、大和の裏で自転車で転んだことがあります。もうふんのせいなのでしょうね。あれがどろどろになって。ということもあって非常に腹が立っているんですけども。

実際に処分はしているということを表で言えない状況になっています。鳥獣保護法の形あって。ただ、それでも処分は予算発表資料などで出してもらおうといいんですけども、して進めろと指示はしていますので。

ただ、それもうまくいかないところとか、減ってるって言うんだけれども、増えている感覚があるんですよ。なので、より有効な対策、そういう意味では他の自治体の事例も勉強しながら進めていきたいと思っています。

今回の都心軸を都市再生緊急整備地域とすることの一つの効果というのは、この都心軸の一体性がつくれるかなということも一つあります。指定していく中でも今、ご意見を伺うという話もありましたけれども、指定された後でその都心軸の魅力をさらに高めていくための動きというのも大事だと思っていますので、その後の対応についても検討できればと指示をしているところでもありますので、ぜひご協力いただければと思います。

あと、都ホテルの跡地の先が見えないとか日銀が見えないとか、いろんなご意見をいただくんですけども、全部今のところ金沢市の土地じゃないところばかりの話でして、エムザもそうなんですけれども。都ホテルの跡地については、都ホテルの所有者である近鉄不動産あるいはその上のホールディングスなどに対してどのように話をしていくかとい

うのが我々の大事なところでして、特に今、都市再生緊急整備地域への指定がこのように進んでいるということを見えるようにしていくということが大事だと思っています。

近鉄不動産は、都市再生緊急整備地域に指定された後での開発というのをほかの地域でも行っているので大体その動きが分かっているはずだと思いますので、そこもこの動きを見える化しながら、そして向こうの動きがなるべく早く進むように準備をしていきたいと思っています。

日本銀行についても、なるべく早く今後手続が開始されるように調整をしていきたいと思いますが、向こうはあんまり困ってないんですね。釧路支店でやったときに、釧路支店を閉鎖して移転してから3年間かかったという事例があったんですけども。うちはまちなかの真ん中の土地なんでそんな悠長にやられてないよという話はしていて、それはただ日銀としてはこれを前例にしてほかが同じように進むことをまた嫌がるというところではありますけれども、いろんな方面から働きかけをしていきたいと思っています。

3年間となるとあと2年間は動かないということになりますので、そうはならないように我々としてもできる限りの努力をしていきたいと思っています。

#### (5) 質疑応答、意見交換

その他のご意見・ご質問等はありませんでした。

#### (6) 市長まとめ

##### 【村山市長】

本当に幅広い議論ができたと思っています。

そして、これから消防団の皆さんの話もありますけれども、それぞれ歴史があって、公民館活動、児童館活動、消防団活動を行ってきた、その歴史の枠組みを一步越えるというのは非常に大変なところだと思います。

一方で、各地域でそれぞれの設備ができて、私も妻が芳齋公民館の女性学級に参加したりとか、今度芳齋公民館の文化祭に参加したりとかいうことで、そういう形で気持ちがつながるとというのが地域コミュニティ活動のよさだとも実感いたしました。

これから地域での課題を共有させていただきながら、カラスも本当に朝の5時からうるさいし、冬場にかけてこれがまた続くのかと思うと嫌な思いがありますけれども、何とか課題を前に進められるように頑張っていきたいと思っています。

またご意見聴かせていただければと思いますので、よろしくお願いたします。  
本日はありがとうございました。(拍手)